

オフィスの 窓から

浅野ブエコ朝子



「あなたに払う給料はな
いわよっ!」。父母に一度
は否定されながら私の後継
ぎ人生は始まった。当時体
調を崩した父を心配し、勝
手に後継ぎになると宣言。
広告代理店のコピーライタ
ーから一転、父母が営むチ
キンの丸焼き専門店「ブエ
ノチキン浦添」へ。そこで
父母が売るのは鶏の丸焼き
ただ一つ。酢とニンニクた
つぶりのタレに漬け込み、
2時間かけてじっくり焼き
上げるチキンは今食べても
衝撃を受けるほどおいしく

大好きなチキン一筋に

娘ながら「もっと売れる」
という確信があった。

2代目になり、さまざま
交流サイト(SNS)でも
「世界一おいしい」と大口
をたたいて回ったところ大
ヒット。お客さまは順調に
増え、思い付きで開けたレ
ストランも通販も売れに売
れ大もうけ!と思ったが、
ふたを開けたら大赤字の自
転車操業! 利益率なんて
学校で習ってないっ! 泣
きべそかきつつ旦那さんの
スパルタ指導で経営を学び
直すなど、恥ずかしい10年
を過ごしてきたがなんとか
右肩上がり成長できた。
5年前にはお店を法人化
し代表に就いた。と言って
も「私が経理やるね」くら
いの適当な感じだったが、
社名は寝る寸前に思い付い
た「世界のブエノチキン合
同会社」。われながら面白
過ぎて寝ている旦那さんを
たたき起こしたほどだ。そ
んな大それた社名にしたも

の、作るチキンも販売先
も変えていない。ロースタ
ーで焼き上げる以外の作業
は全て手作業、両親と親戚
の二二一、ネーネー、仲
間たちと飽きもせず同じチ
キンを作り続ける。この9
月に移転したがその距離た
った150㍎。世界には程
遠いが、こちらが世界に出
るのではなく、そのうち世
界がこちらに注目するだろ
うと適当に構えている。

商品がどんどん入れ替わ
り、あっという間に忘れら
れていく世の中を横目で見
ながら、ゆっくり育つ商品
こそ強いのだと言いつつも
経営者でも育児中でも、財
務諸表が読めなくても、こ
の商品が大好きというだけ
で経営はこんなに面白い。
このコラムでは、そんな2
代目の日々をチキンと、い
やチキンと、書きつづりた
い。(世界のブエノチキン
合同会社代表)

次回は新垣貴雪氏(中部興産社長)です。